

令和2年度
事業計画・予算

(目次)

| | | |
|---|-----------------|---|
| 1 | 令和2年度の概観 | 1 |
| 2 | 事業計画の重点項目 | 1 |
| 3 | 各学校の事業計画 | 2 |
| | (1) 盛岡大学 | |
| | (2) 盛岡大学短期大学部 | |
| | (3) 盛岡大学附属高等学校 | |
| | (4) 盛岡大学附属厨川幼稚園 | |
| | (5) 盛岡大学附属松園幼稚園 | |
| 4 | 予算編成 | 6 |

学校法人盛岡大学

令和2年3月24日

1 令和2年度の概観

この度、私立学校法が改正（R2.4.1 施行）され、原則5年以上の「中期計画」の策定が義務付けられたことから、「学校法人盛岡大学第3次中期経営計画（平成30年度～平成33年度）」の精査、見直しを行い、永続的な維持、発展を目指すため、新たな中期計画（令和元年度～令和5年度）」を策定いたしました。

令和2年度事業計画及び予算は、その中期計画と連繋し、また整合を図りながら計画の実現に向けて進めて参ります。

今後、少子化により入学する学生・生徒等の減少が見込まれ、厳しくなる経営環境の中にあつて、安定した経営の維持のため最大限の努力の傾注が必要であります。その為には、役員をはじめ全教職員の英知の結集や意識の改革と施策の合理性、効率性等の評価を行い、最小の経費で最大の効果が得られるよう業務を見直し、また不要不急の経費を排除し、より緻密な収支計画の策定が不可欠であります。

収入については、事業活動収入の約7割を占めている学生・生徒等納付金は、学生・生徒等数と授業料等収入と連動しており、学生・生徒等の確保が安定経営にとって重要な要素であります。更に国庫補助金の査定が厳格化される中で、一般補助金・特別補助金、競争的資金等の収入確保に努め、寄付金収入や資金運用収入の増額を図るなど、財源の確保に努める必要があります。

支出については、経年劣化に伴う施設設備の更新・補修についての要望が増加しており、これに要する費用の増加、また「中期計画」の施設計画に組入れられた事業の費用や教育・研究の充実向上を図るための政策的な事業の費用の確保も必要であります。

予算の執行に当っては、スクラップ&ビルドの観点に立ち、支出の必要性を十分に吟味し無駄のない効率的な予算執行に努めること、当初予算に計上された目的以外の予算執行及び配付された予算額を超える予算の補正は原則として認めないこと等、収入規模に応じた適切な支出規模を維持する必要があります。また、将来の安定した経営のためには、引続き業務及び組織の見直し・効率化や、適正な職員配置を図るとともに、第2号基本金への組入、基本金組入前当年度収支差額の収入超過を維持すること等、経営基盤強化に努める必要があります。

学校法人を取り巻く厳しい経営環境の中にあつて、本法人の建学の精神と教育理念の実現を志向するとともに、学校教育法及び私立学校法の改正に伴う規程等の整備や財務書類等の情報公開の充実と経営状況の透明性を高めて、学生・生徒等やステークホルダーの信頼と期待に応え、その役割と社会的使命を果たし、さらに高い評価を得られるよう努力する必要があります。

新年度の予算執行に当たり、予算責任者である各学校等の長には、現状を十分理解され、協力頂きますようお願い致します。

2 事業計画の重点項目

令和2年度の事業計画は、新たに策定された「中期計画（令和元年度～令和5年度）」の次の4つの基本事項と、8つの重点項目に基づき取り進めて行きます。

〔基本事項〕

- 1 教育研究活動の改善及び質の向上
- 2 業務運営の効率化を目的とした事務組織・人事体制の見直し
- 3 施設設備整備計画による環境の整備
- 4 財務内容の改善による経営基盤の強化

〔重点項目〕

- 1 教育研究活動の改善及び質の向上を図る。
- 2 組織運営、管理体制を整備し、ガバナンス機能の改善・強化を図る。
- 3 人事体制の整備を進め適正化を図る。
- 4 施設設備の整備を進め、教育研究環境の充実を図る。
- 5 財政基盤の安定化を図る。
- 6 設置校の将来構想について検討する。
- 7 法人内の各学校間の連携を強化する。
- 8 法人及び盛岡大学の周年事業を実施する。

3 各学校の事業計画

〈盛岡大学〉

(1) 建学の精神に基づく人間育成力

- ①DP（ディプロマ・ポリシー）・CP（カリキュラム・ポリシー）・AP（アドミッション・ポリシー）の見直しを行う。
- ②高大接続改革に取り組む。

(2) 定員充足力

- ①学部・学科の特長の明確化を図る。
- ②入学者確保の戦略を構築する。
- ③定員の適正化の検討を進める。

(3) 教育改革力

- ①初年次教育の改善を図る。
- ②教育課程の見直しを行う。
- ③主体的学修への転換を図る。
- ④学修成果を把握し可視化する。
- ⑤学修成果の向上（教育の質保証）を図る。

(4) 学修支援力

- ①学修支援体制の整備を図る。
- ②学修環境の整備を進める。
- ③学生生活安定のための支援を行う。
- ④キャリア支援の充実を図る。
- ⑤学生の意見、要望に対応する。

(5) 組織マネジメント力

- ①自己点検評価のサイクルを確立し、報告書を刊行する。
- ②データ資料の管理と公開についてのプランを策定する。

- ③研究活動の推進を図る。
- (6) 地域貢献と情報発信力
 - ①産・官との連携を強化する。
 - ②地域への知的活動と施設開放等の充実を図る。
 - ③生涯学修の支援を推進する。

〈盛岡大学短期大学部〉

- (1) 建学の精神に基づく人間育成力
 - ①D P (ディプロマ・ポリシー)・C P (カリキュラム・ポリシー)・A P (アドミッション・ポリシー) の見直しを行う。
 - ②高大接続改革に取り組む。
- (2) 定員充足力
 - ①入学者確保の戦略を構築する。
 - ②定員の適正化の検討を進める。
- (3) 教育改革力
 - ①初年次教育の改善を図る。
 - ②主体的学修への転換を図る。
 - ③学修成果を把握し可視化する。
- (4) 組織マネジメント力
 - ①自己点検評価のサイクルを確立し、報告書を刊行する。
 - ②第3回認証評価受審(令和4年予定)にむけて受審体制の構築を図る。
 - ③附属幼稚園との連携体制の強化を図る。
- (5) 地域貢献と情報発信力
 - ①広報活動の充実を図る。
 - ②生涯学修の支援を推進する。

〈盛岡大学附属高等学校〉

- (1) 入学者の定員確保に努める。
- (2) 教育課程の改善を検討、実施する。
- (3) 新学習指導要領に対応した教育改善の検討を進める。
- (4) 高大連携を充実させるとともに、高大接続改革に備える。
- (5) 留学制度等特色ある教育活動に取り組む。
- (6) コンプライアンスの徹底を図る。
- (7) 生徒の安全面等環境に配慮した施設設備の改善を検討する。
(教室等の ICT 化、シューズロッカー室の床・ドア及び通路の修理、駐車場のアスファルトの修理など)

〈盛岡大学附属厨川幼稚園〉

- (1) 園児充足率の担保
 - ①園庭開放、未就園児サークルの広告チラシを作成し、広報の強化を図る。
 - ②園児募集要項の作成し、広く園児募集を行なう。

- ③未就園児サークルの活動内容の充実を図る。
- ④2歳児保育を開始し、定員確保、充足率の担保を確実に見通す。
- ⑤大学附属幼稚園のイメージマスコットの有効活用を図る。
- (2) 特別な支援を要する子どもへの柔軟な対応
 - ①園務分掌に特別支援教育担当についての役割を規定する。
 - ②預かり保育に在籍する特別な支援を要する子どもへの加配を行い、補助金対象の事業とする。
 - ③特別支援教育を中心に、共に育ちあう保育のあり方について研修会に参加する。
 - ④短期大学と共同開催で、特別支援教育研修会を行う。
- (3) 教育の質向上
 - ①施設型給付への移行による、キャリア研修へ参加する。
 - ②園長、教育職員各研修会等に積極的に参加する。
 - ③園務分掌に教務主任についての役割を規定する。
 - ④幼稚園教育要領に沿った、教育課程編纂に向けた研修を行う。
 - ⑤新幼稚園教育要領に基づき、園内研修を主に幼稚園教諭から小学校教諭にかかわりの意図を伝えるための円滑な幼小接続に向けた研究を進める。
 - ⑥盛岡大学・短期大学部と共催で、小学校・幼稚園に向けた公開保育研究会を行う。
 - ⑦3年間の研究のまとめとして、研究収録（又は紀要）を発刊する。
- (4) 施設の環境整備を図る。
- (5) その他
 - 中期計画で私学助成から施設型給付に向けた附属幼稚園として、公定価格加算の対象となる事業を実施していく。

〈盛岡大学附属松園幼稚園〉

- (1) 園児定員確保に努める。
 - ①令和2年度内に60名を目指し、更なる園児確保に努める。
 - ②未就園児サークル（3歳～）、まんまくらぶ（0才～）広報を早い時期から行い、内容の充実を図る。
 - ③2歳児保育の実現に向け検討を行う。
 - ④今後の子ども支援制度や助成の仕組み等を試算し検討する。
 - ⑤共働きや母親の就労に応じ、安心して預けることができる預かり保育日程の見直しを行う。
 - ⑥インターネットを活用した広報活動の研究と活用を進める。（HP、ブログ見直し等）
- (2) 教育内容の充実・教員の資質向上を図る。
 - ①教育課程を通し、子ども達の育ちを保護者等に分かり易く発信する。
 - ②一人ひとりの子どもに応じたきめ細かな教育を実践する。
 - ③子どもの実態に即した教育課程を編成し、教育課程を紀要に掲載する。
 - ④二園交流等を行い、子ども達の触れ合いを通し刺激しあい教育活動に活かす。

- ⑤福祉施設との交流を行い、子ども達の社会への関心を深める。
 - ⑥特色ある教育としてジョイキッズ、ラクビー教室を継続し保育に生かす。
 - ⑦幼児体操名称「ちからこぶ」を今年度も行い、子ども達の発達に合わせた体育的な活動を日常の保育、預かり保育の特色として発信する。
 - ⑧個々の子どもの育ちに対応した援助が出来るよう盛岡大学と連携し、子ども観察の後、ケースカンファレンスを行う。
 - ⑨特別な支援を必要とする園児の個別支援計画を継続して作成し、その子に合った教育を行う。
- (3) 幼大短二園の連携し教育の充実と教員の資質向上に努める。
- ①大学・短大、また県内の養成校の教育の場として質の高い教育を実践し、実習生を受け入れる。
 - ②従来の幼稚園と小規模保育により地域のニーズに合わせた保育を行う。
 - ③保護者の就労等により預かり保育の充実を図る。
 - ④教員が園児の保育に十分にかかわることができるよう、保育の無償化等による事務負担の軽減を図る。
- (4) 短大、大学、高校との連携のあり方
- ①学園祭等において学生の学びの場として園行事への参加を定着させ、学生と教員とが一体となった活動を展開し、附属幼稚園の特色を打ち出す。
 - ②高校、大学、短期大学部の教員による保育参加や、保護者に対する子育て相談、講演を実施する。
- (5) 園舎内外の環境整備を行う。
- ①園児の安全を第一に考慮し、施設設備の保守点検を行う。
 - ②教具室や保育室の整頓、整備を心がけ教育環境を整える。
- (6) 安全・衛生について管理と整備を行う。
- ①不審者等の対策のため玄関の自動施錠、防犯カメラ及び防犯灯等の設置を検討する。
 - ②外壁の塗装、フェンスの補修、保育室の床の張替え、ヒーター等の設置を検討する。
 - ③衛生面や安全性などを考慮し、トイレの改修を検討する。

4 予算編成

(1) 基本方針等

ア 令和元年10月24日開催の理事会において議決された、令和2年度予算編成方針並びに令和2年2月27日開催の理事会において策定された、中期計画に準じ、「当該年度の収入で、支出を賄う」を堅持のうえ、財政の安定化及び財務比率の適正化を図る。

イ 収入については、学生数の減少による学生生徒等納付金の減少が顕著である。

※（）内は、令和元年度第2次補正予算対比（以下同様）

学生生徒等納付金 2,277,863千円（△38,818千円）

ウ 支出については、収入の状況が厳しいことに鑑み、施設設備等固定資産等の取得について特に重要性の高いものを優先的に取得することとした。

エ また各学校に対する配付予算については、学校法人盛岡大学経理規程の規定により予算審査委員会において予算要求書を審査し、調整を図った。

オ その結果、事業活動収支については、次のとおりとなった。

| | |
|---------------|------------------------|
| 基本金組入前当年度収支差額 | 161,854千円（△82,354千円） |
| 基本金組入額合計 | △106,809千円（△8,524千円） |
| 当年度収支差額 | 55,045千円（△90,878千円） |
| 翌年度繰越収支差額 | △1,902,448千円（55,045千円） |
| 事業活動収入計 | 3,231,441千円（53,077千円） |
| 事業活動支出計 | 3,069,587千円（135,431千円） |

当年度収支差額は、55,045千円の収入超過を計上した。

カ 令和2年度予算における事業活動収支差額比率は、平成30年度全国私大平均である4.6%を上回る5.0%となった。

(2) 第2号基本金の組入れ等

こうした中であって、計画にしたがって3種類の「第2号基本金」組入れ（令和2年度組入れ額合計38,000千円）及び「施設設備整備引当特定資産」の組入れ（令和2年度組入れ額30,000千円）を実行し、将来の固定資産等の取得に備える。

(単位 円)

| 第2号基本金組入計画等 | 固定資産取得予定年度 | 所要見込総額 | 令和2年度組入額 |
|------------------------|------------------|---------|----------|
| 砂込校舎改築・改装資金 | 平成29年度 ～令和7年度 | 560,000 | 25,000 |
| 盛岡大学附属高校 施設設備整備拡充資金 | 令和2年度 ～令和4年度 | 75,000 | 10,000 |
| 盛岡大学学生会館 施設設備整備拡充資金 | 令和3年度 ～令和4年度 | 22,000 | 3,000 |
| 第2号基本金組入計 | | 657,000 | 38,000 |
| 施設設備整備引当特定資産 | — | — | 30,000 |

(3) 施設設備等の新設・更新等

| | |
|-----------------------|----------|
| 図書館空調設備更新工事 | 41,250千円 |
| 砂込校舎普通教室・特別教室エアコン設置工事 | 24,310千円 |
| 砂込校舎防水工事 | 15,035千円 |
| 砂込校地自動火災報知設備盤更新工事 | 14,360千円 |
| 附属高校等受電設備更新工事 | 30,169千円 |

(4) 予算の概要等

別紙のとおり

別紙

1 収入について

(1) 「学生生徒等納付金」の推移は次のとおりである。

(単位 千円)

| 部 門 | 平成29年度 決 算 | 平成30年度 決 算 | 令和元年度 第2次補正予算 | 令和2年度 当初予算 |
|-------|---------------|---------------|------------------|------------------|
| 大学 | 1,837,150 | 1,865,731 | 1,846,620 | 1,840,196 |
| 短期大学部 | 274,115 | 232,799 | 209,304 | 205,453 |
| 附属高校 | 248,721 | 238,413 | 245,883 | 226,984 |
| 厨川幼稚園 | 23,559 | 24,438 | 9,535 | 3,480 |
| 松園幼稚園 | 18,592 | 17,084 | 5,339 | 1,750 |
| 合 計 | 2,402,137 | 2,378,465 | 2,316,681 | 2,277,863 |

(2) 「補助金+寄付金」の推移は次のとおりである。

(単位 千円)

| 部 門 | 平成29年度 決 算 | 平成30年度 決 算 | 令和元年度 第2次補正予算 | 令和2年度 当初予算 |
|-------|---------------|---------------|------------------|----------------|
| 大学 | 165,449 | 182,633 | 162,653 | 162,626 |
| 短期大学部 | 49,991 | 44,248 | 37,236 | 37,233 |
| 附属高校 | 205,666 | 176,868 | 141,627 | 139,032 |
| 厨川幼稚園 | 20,920 | 21,939 | 70,671 | 71,370 |
| 松園幼稚園 | 17,380 | 18,145 | 47,431 | 48,576 |
| 合 計 | 459,406 | 443,833 | 459,618 | 458,837 |

(3) 法人全体の「事業活動収入計」の推移は次のとおりである。

(単位 千円)

| 法人全体 | 平成29年度 決 算 | 平成30年度 決 算 | 令和元年度 第2次補正予算 | 令和2年度 当初予算 |
|---------|---------------|---------------|------------------|------------------|
| 事業活動収入計 | 3,395,936 | 3,383,797 | 3,178,364 | 3,231,441 |

2 支出について

(1) 「人件費」の推移は次のとおりである。

(単位 千円)

| 部 門 | 平成29年度 決 算 | 平成30年度 決 算 | 令和元年度 第2次補正予算 | 令和2年度 当初予算 |
|-------|---------------|---------------|------------------|------------------|
| 大学 | 1,242,765 | 1,229,668 | 1,171,025 | 1,282,033 |
| 短期大学部 | 235,753 | 228,426 | 169,839 | 206,908 |
| 附属高校 | 318,740 | 324,518 | 306,066 | 306,257 |
| 厨川幼稚園 | 44,973 | 45,639 | 58,833 | 59,513 |
| 松園幼稚園 | 35,567 | 37,577 | 47,541 | 55,158 |
| 学校法人 | 48,452 | 43,998 | 47,347 | 44,077 |
| 合 計 | 1,926,250 | 1,909,826 | 1,800,651 | 1,953,946 |

(2) 「教育研究経費」の推移は次のとおりである。

(単位 千円)

| 部 門 | 平成29年度 決 算 | 平成30年度 決 算 | 令和元年度 第2次補正予算 | 令和2年度 当初予算 |
|-------|---------------|---------------|------------------|----------------|
| 大学 | 456,131 | 478,596 | 504,812 | 529,975 |
| 短期大学部 | 98,412 | 89,927 | 92,753 | 90,230 |
| 附属高校 | 168,002 | 151,499 | 117,028 | 108,852 |
| 厨川幼稚園 | 11,985 | 12,955 | 13,096 | 14,559 |
| 松園幼稚園 | 13,290 | 13,375 | 12,047 | 13,429 |
| 合 計 | 747,820 | 746,352 | 739,736 | 757,045 |

(3) 「事業活動支出計」の推移は次のとおりである。

(単位 千円)

| 法人全体 | 平成29年度 決 算 | 平成30年度 決 算 | 令和元年度 第2次補正予算 | 令和2年度 当初予算 |
|---------|---------------|---------------|------------------|------------------|
| 事業活動支出計 | 3,010,857 | 2,981,324 | 2,934,156 | 3,069,587 |

3 「当年度収支差額」等の推移について

(単位 千円)

| 法人全体 | 平成29年度 決算 | 平成30年度 決算 | 令和元年度 第2次補正予算 | 令和2年度 当初予算 |
|---------------|--------------|--------------|------------------|-------------------|
| 当年度 収支差額 | 240,409 | 279,327 | 145,923 | 55,045 |
| 翌年度繰越 収支差額 | △2,409,444 | △2,118,178 | △1,957,493 | △1,902,448 |

4 「基本金組入額」の推移について

(単位 千円)

| 法人全体 | 平成29年度 決算 | 平成30年度 決算 | 令和元年度 第2次補正予算 | 令和2年度 当初予算 |
|--------|--------------|--------------|------------------|-----------------|
| 基本金組入額 | △144,670 | △123,146 | △98,285 | △106,809 |

5 主な財務比率の推移について

(単位 %)

| 法人全体 | 平成29年度 決算 | 平成30年度 決算 | 令和元年度 第2次補正予算 | 令和2年度 当初予算 |
|----------------|--------------|--------------|------------------|---------------|
| 人件費比率 | 56.9 | 56.7 | 56.9 | 60.7 |
| 教育研究経費 比率 | 22.1 | 22.2 | 23.4 | 23.5 |
| 事業活動収支 差額比率 | 11.3 | 11.9 | 7.7 | 5.0 |

人件費比率 = 人件費／経常収入 平成30年度全国私大平均 **53.0%**
 教育研究経費比率 = 教育研究経費／経常収入 平成30年度全国私大平均 **33.4%**
 事業活動収支差額比率 = 基本金組入前当年度収支差額／事業活動収入 平成30年度全国私大平均 **4.6%**
 経常収入 = 教育活動収入＋教育活動外収入

6 部門別収支差額等について

(単位 千円)

| 部 門 | 事業活動収入 | 事業活動支出 | 基本金組入額 | 当年度収支差額 |
|-----------|-----------|-----------|----------|---------|
| 文学部 | 1,924,876 | 1,570,441 | △56,810 | 297,625 |
| 栄養科学部 | 392,970 | 420,898 | △27,645 | △55,573 |
| 短期大学部 | 295,279 | 331,901 | △7,885 | △44,507 |
| 附属高校 | 472,957 | 515,104 | △14,469 | △56,616 |
| 厨川幼稚園 | 81,140 | 78,463 | 0 | 2,677 |
| 松園幼稚園 | 55,014 | 71,695 | 0 | △16,681 |
| 法人 (含予備費) | 9,205 | 81,085 | 0 | △71,880 |
| 合 計 | 3,231,441 | 3,069,587 | △106,809 | 55,085 |